

# 人馬ともに生き抜いた 十勝と馬の百年物語

明治の幕開けとともに始まった十勝の開拓。以来、機械化の波が押し寄せるまでの約100年の間、人々の暮らしの中にはいつも馬の姿がありました。農耕に林業に、運搬にとあらゆる場面で活躍した馬たち。ばんえい競馬に受け継がれる馬産地・十勝の馬文化の歩みを写真とともに辿ります。

取材協力／NPO法人とかち馬文化を支える会



昭和30年、人や車に混ざって踏切を渡る馬車。現在の西5条南10丁目付近に当たる西5条踏切にて。  
(写真／狂田喜與志)